

祝 辞

本日、ここ海上自衛隊 第1術科学校 大講堂におきまして、第百三十七期幹部予定者課程卒業式、並びに第八十五期公募幹部課程修業式が厳粛に挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部予定者課程を卒業される皆様、並びに公募幹部課程を修業される皆様、本日は誠におめでとうございます。

そして、西山学校長を始めとする、学校関係者の皆様におかれましては、立派に成長された自衛官が江田島の地を巣立つ姿に、感慨もひとしおのことと、思います。

本日、卒業される皆様方におかれましては、「海上自衛隊の教育の聖地」で学ばれたことを誇りとし、「心・技・体」を兼ね備えた立派な自衛官として、活躍されることを心より願っております。この伝統ある江田島の地で培われた知識や技術、そして厳しい訓練を仲間とともに乗り越えた経験は、これからの皆様の人生において大きな力となることでしょう。江田島を第二の故郷として心に刻み、苦楽を共にした仲間とともに、いつかまた訪れていただければ幸いです。再び皆様とお目にかかれる日を、心より楽しみにしております。

さて、皆様御存知のとおり、ここ江田島市は、今から百三十七年前、明治時代に海軍兵学校が東京築地から移転し、その後、昭和三十一年に海上自衛隊をお迎えし、これまで六十九年間、共存共栄の関係を築き、皆様との縁や絆を大切に育んできた地でございます。

十月二十五日に行われました「オータムフェスタ江田島二〇二五・江田島湾海上花火大会」では、会場を御提供いただくなど、海上自衛隊の皆様の御協力により、五千人を超える来場者があり、市最大のイベントとして、大いに盛り上がり、多くの市民の方々に楽しんでいただきました。海上自衛隊の皆様の、地域への熱い思いに、心より感謝申し上げます。これからも、海上自衛隊と江田島市が連携、協力し合い、更なる発展を目指してまいります。

結びに、日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして本日御参会の全ての皆様の御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和七年十二月十七日

江田島市長 土 手 三 生